

第16回聖光会学会

『進めよう医療・介護連携』



平成31年3月2日(土)

会場：ラフレさいたま

主催：聖光会グループ

目 次

開催概要	1
学会長挨拶	2
理事長挨拶	3
参加者へのご案内	4
座長および演者の皆様へ	5
会場周辺・交通のご案内	6

演題プログラム

口述セッション①～②	(3F 桜ホール)	7
口述セッション③～④	(4F 樺の間)	8
ポスターセッション①～②	(5F 桃の間)	9
ポスターセッション③～④	(5F 桃の間)	10
特別講演	(3F 桜ホール)	11
演題抄録		12 ～ 54
企業展示のご案内		55

第 16 回聖光会学会開催概要

日 時	平成 31 年 3 月 2 日（土）14:00～		
会 場	ラフレさいたま 〒330-0081 さいたま市中央区新都心 3-2 TEL 048-600-5500 URL http://www.rafre.co.jp/		
学 会 長	医療法人聖仁会 西部総合病院 院長 村山 晃 テーマ 『進めよう医療・介護連携』		
開 会 式	14:00～	3 階	桜ホール
特 別 講 演	17:30～ 仲井培雄先生 地域包括ケア病棟協会 会長 芳珠記念病院 理事長	3 階	桜ホール
閉 会 式	18:30～	3 階	桜ホール
懇 親 会	閉会式終了後	4 階	櫓の間
主 催	聖光会グループ 医療法人聖仁会 医療法人光仁会		
幹 事	西部総合病院・西部在宅ケアセンター		
事 務 局	西部総合病院 〒338-0824 さいたま市桜区上大久保 884 TEL 048-584-1111（代表） 事務局長 渡邊 彰		

学会長挨拶

第16回聖光会学会の開催にあたりご挨拶申し上げます。今回も口述・ポスター発表をあわせて40題を超えるご登録を頂きました。聖光会グループの学術向上への意識の高さの表れであると思います。

今回、学会テーマを「進めよう医療・介護連携」といたしました。地域包括ケアシステムの中心になるという当グループの目標の達成には非常に重要な事項であると考えテーマに掲げさせていただきました。

西部総合病院も昨年の4月に入退院調整部門・医療社会福祉課・地域医療連携室を一つの部門として「患者サポートセンター」を立ち上げました。外部からの患者さんの受け入れ・院内での病棟移動・在宅復帰といった一連の部門をまとめることで、このテーマにある連携をスムーズに行うことを目指したものです。

医療・介護連携は、何も外部機関との連携だけではありません。聖仁会においては西部総合病院と西部在宅ケアセンターの同一法人の医療介護連携が重要なものとなり、患者サポートセンターが法人の介護部門を担う在宅ケアセンターの各事業所との連携窓口として大きな役割を担っております。グループ内の連携がうまくいかなければ外部との連携はなお難しいものとなるでしょう。そのような背景があり今回のテーマとなりました。

特別講演は地域包括ケア病棟協会会長で芳珠記念病院理事長 仲井培雄先生にお願いいたしました。当グループの今後について貴重なお話が聞けるものと思います。

結びに、学会開催にあたりご協力いただきました皆様に感謝申し上げるとともに、新健診センター立ち上げという大きな事業の中での学会開催となり、ご苦勞をいただいた西部総合病院学会準備委員長の関根先生をはじめとする準備委員会・研究研修委員会の皆さんに感謝申し上げます。

第16回聖光会学会 学会長
西部総合病院 院長 村山 晃

第 16 回聖光会学会開催にあたり

第 16 回聖光会学会を無事に開催することができました。聖光会グループ職員の皆様やお取引業者様をはじめとする皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

医療を取り巻く環境は年々厳しくなっており、聖光会グループも日々その対応に追われているというのが現状ではないでしょうか。そのような中でこの聖光会学会はグループの根幹を支える一つであると私は考えております。

さいたま市西部地域の聖仁会・埼玉県春日部市中心の光仁会 2 つのグループ法人が合同で行っている唯一と言える行事がこの聖光会学会であり、お互いの法人がどのような活動をしているのかを学会発表というかたちで知ることができ、それぞれの法人で気付きがあり、刺激があり、それぞれの職場で生かすことができると思います。

グループとしては「地域包括ケアシステムの中心となる」を大きな目標として掲げておりそれぞれの地域で努力しております。そんな中今回のテーマ「進めよう医療・介護連携」は地域包括ケアシステムの根幹をなすものであり、まさにグループの根幹をなす学会のテーマとしてはタイムリーなものだと思います。

また、今回は特別講演を地域包括ケア病棟協会会長の仲井培雄先生にお願い致しました。聖光会グループが、地域包括ケアシステムの中心として今後どのような運営をしていくべきなのかについて貴重なお話が聞けるものと思います。

最後に今回学会長をお願いしました、西部総合病院院長 村山晃先生をはじめ、開催準備に当たってくださった聖仁会西部総合病院・西部在宅ケアセンターの職員の方々に感謝申し上げます。

聖光会グループ

医療法人聖仁会

医療法人光仁会

理事長 西村 直久

参加者へのご案内

受付場所 3階桜ホール入口に設置いたします。一般参加と座長・発表者で別となります。
事業所ごとに名簿を用意しておりますので、各自にてチェックをお願いします。
座長・発表者は専用受付にて受付をお願いします。

受付時間 座長・発表者 13:00～ 一般参加 13:30～

その他

- ・クロークは1階フロント横にあります。
- ・喫煙は所定の喫煙所をお願いします。
- ・携帯電話は電源を落とすか、マナーモードに設定してください。
- ・車での来場はご遠慮ください。

【桜ホール】

口述発表 ① 6題 14:15～15:15 口述発表 ② 6題 15:20～16:10

【櫓の間】

口述発表 ③ 6題 14:15～15:15 口述発表 ④ 6題 15:20～16:20

【桃の間】

ポスター発表 ① 5題 16:00～16:40 ポスター発表 ② 5題 16:40～17:20

【桃の間】

ポスター発表 ③ 5題 16:00～16:40 ポスター発表 ④ 4題 16:40～17:20

特別講演 17:30～18:30 桜ホール

座長および演者の皆様へ

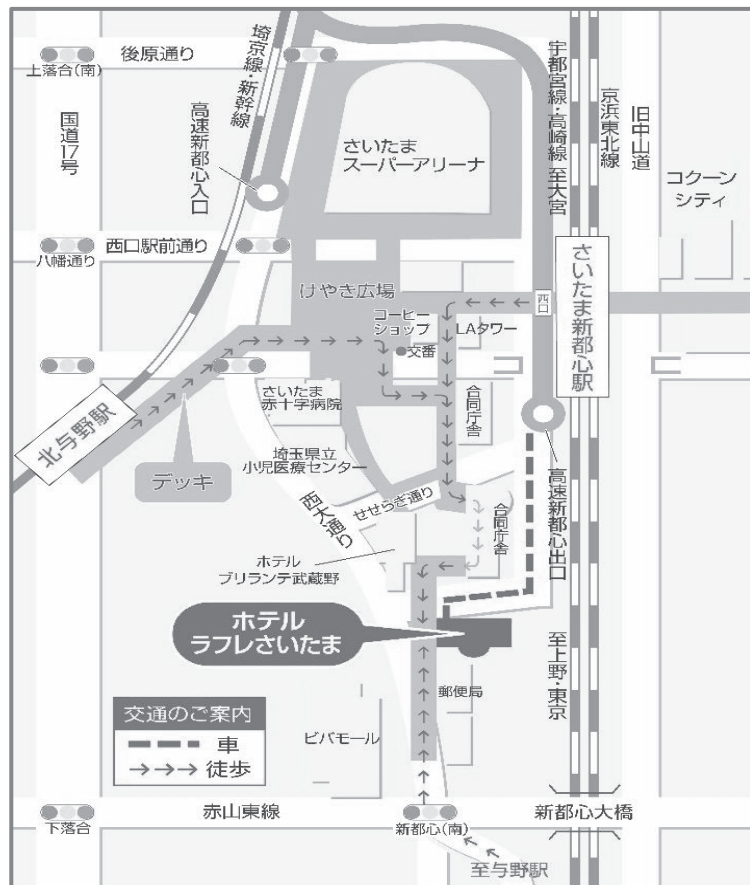
座長各位

- ◆ 当日、受付にて座長であることを申し出て座長ネームプレートをお受け取り下さい。
 - ◆ 担当セッション開始30分前に次座長席にお付き下さい。
(ステージに向かって左側手前に席の表示をします。)
 - ◆ 演題演者の紹介ほか担当セッションの進行は全て座長に一任致します。
口述発表は6分、ポスター発表は4分。担当セッションの各発表が終了後に質疑応答時間を各演題2分設けております。
時間の経過について、口述発表に関しては持ち時間終了1分前に1鈴、終了時に2鈴を鳴らします。その他質疑応答の時間経過など必要に応じて隣席のタイムキーパーに問い合わせ確認をお願いします。
 - ◆ 時間管理厳守をお願いします。
- ※その他ご不明な点は、当日の座長会にて確認をお願いします。

発表者各位（演題発表に関する留意事項）

- ◆ 当日、受付にて演者であることを申し出て演者ネームプレートをお受け取り下さい。
- ◆ 当日、口述会場には演者席・次演者席を設けます。確認をお願いします。
(ステージに向かって左側手前に席の表示をします。)
- ◆ 各ご担当セッションの開始時刻30分前には次演者席に付いて下さい。
- ◆ パワーポイント操作はご自身もしくは、共同演者の方をお願いします。
- ◆ 学会当日のスライド差替えはご遠慮下さいます様重ねてお願い申し上げます。
- ◆ 座長から発表演題・施設名・演者名の紹介がありますので、その部分は省略し発表を開始して下さい。
- ◆ 口述の発表時間は6分で、開始5分後に1鈴、6分で2鈴鳴らします。
ポスターの発表時間は4分です。ともに時間厳守をお願いします。質疑応答は各発表終了後、質疑応答時間を各演題2分設けております。
セッション内での進行は座長の指示に従って下さるよう協力をお願いします。

会場周辺図・交通のご案内



【電車の交通案内】

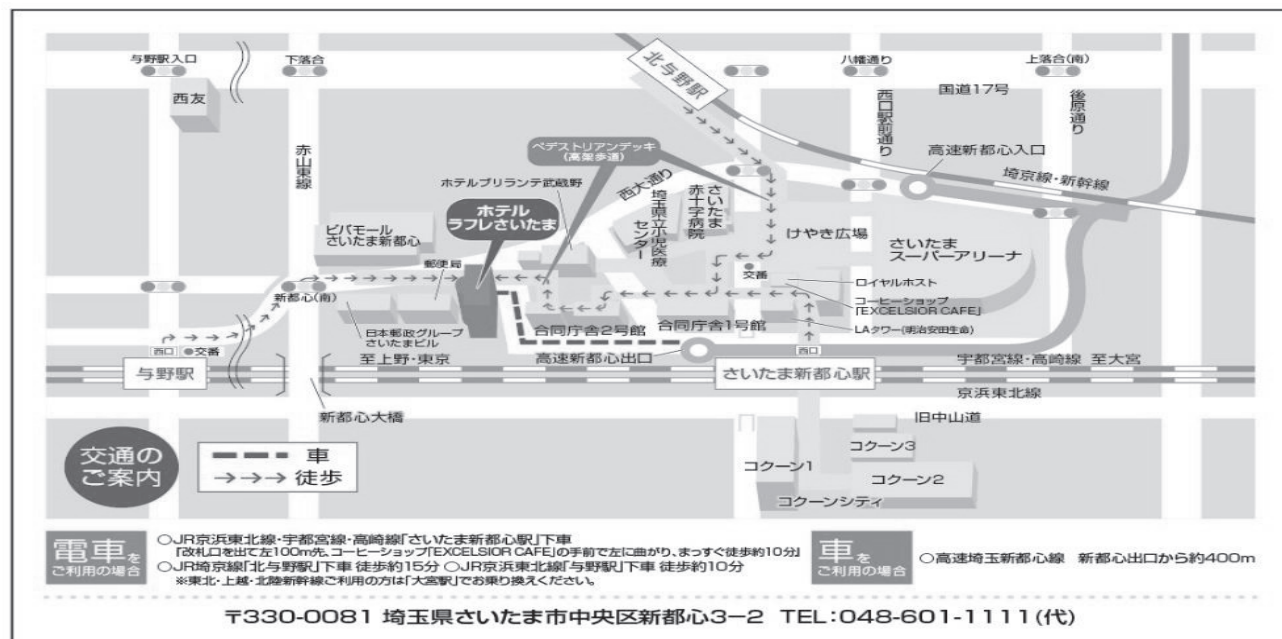
JR 京浜東北線・宇都宮線・
高崎線「さいたま新都心」駅
下車 徒歩7分。

JR 埼京線（各駅停車利用）

「北与野」駅下車 徒歩10分

※東北新幹線、上越新幹線を
ご利用の方は「大宮」駅でお
乗り換え願います。

【会場周辺地図】懇親会ご参加の方は、車での来場はお控え下さい



第 16 回聖光会学会演題プログラム

【口述セッション① 14:15～15:15 桜ホール】 座長：聖光会本部 経営企画室長 立石 寛

- | | | |
|---|--|----------------------------|
| 1 | 急性期病棟における認知機能低下のある患者との関わり方
～排泄ケアを通して～ | 春日部厚生病院 2階東病棟
看護師 森山さゆり |
| 2 | 心房細動例への新規抗凝固薬使用における問題点 | 春日部厚生病院
医師 高柳 寛 |
| 3 | 当グループにおける消費税増税の影響について | 聖光会グループ 財務部
経理課 小原 義行 |
| 4 | 個人にあった TENA のオムツ選び | 西部総合病院 3階東病棟
安達 真樹 |
| 5 | おむつ製品（テーナ）の変更による費用の分析 | 西部総合病院 看護部
長谷川啓子 |
| 6 | 接触予防策が必要な病原体の検出状況 | 西部総合病院 検査科
川畑真理子 |

【口述セッション②15:20～16:10 桜ホール】 座長：西部総合病院 看護部師長 斎藤満津子

- | | | |
|----|--|----------------------------|
| 7 | 業務改善による効果的な口腔ケアの確立 ～質より量～ | 西部総合病院 3階東病棟
看護師 澤田 光子 |
| 8 | 人生の最終段階における医療・ケアとは
～患者の意向を尊重した意思決定のための取り組み～ | 南部厚生病院 医療社会福祉課
鈴木ゆかり |
| 9 | 「スムーズに歩きたい！」
でも、バランスを崩してしまう 80 歳代女性の歩行向上を目指して | 南部厚生病院 リハビリテーション科
佐々木 翼 |
| 10 | 当院における装具ノート導入の検討 | 西部総合病院 リハビリテーション部
大竹 明子 |
| 11 | 当院における栄養指導の傾向と今後の課題 | 西部総合病院 栄養科
賀集 洋子 |
| 12 | 退院に向けての排泄ケア
～オムツ交換を通しての情報共有～ | 西部総合病院 2階西病棟
増渕 桃子 |

【口述セッション③14:15～15:15 櫂の間】 座長：西部総合病院 看護部師長 本多 雅美

- 13 回復期病棟における入院時ご家族へのオリエンテーション 西部総合病院 2階東病棟
～入院案内を活用して～ 宗形 愛
- 14 介護者交流会『かすかふえ』の取り組み 春日部厚生病院 リハビリテーション部
作本 聡美
- 15 長期化しやすい患者の情報交換のあり方について考える 西部総合病院 3階西病棟
浅子 喜江
- 16 地域包括ケア病棟における情報パスの活用 西部総合病院 3階南病棟
～能動的な情報共有を目指して～ 荷川取 蓮
- 17 申し送りに頼らない能動的情報収集への意識改革 春日部厚生病院 看護部
～患者情報（PI）シートを活用して～ 内川 理絵
- 18 情報の共有を図るためには 春日部厚生病院 3階東病棟
～情報を記録できるシートを作成して～ 丹場 祐子

【口述セッション④15:20～16:20 櫂の間】 座長：南部厚生病院 看護部師長 新行内美香

- 19 意向に沿った退院支援 春日部厚生病院 連携福祉室
大矢 英幸
- 20 医療療養病棟における退院支援 西部総合病院 2階西病棟
～在宅退院の要因～ 重田 稔子
- 21 在宅処置を長期継続する利用者の支援体制について 訪問看護ステーションひまわり
訪問看護師の役割を明らかにする 南雲 美由紀
- 22 精神障がい者への援助 訪問看護ステーションさくら
～訪問看護師の抱える不安と困難～ 北條 和美
- 23 在宅介護が困難と考えられた終末期患者の一事例 西部総合病院 患者サポートセンター
～家族の思いに沿った在宅への退院支援～ 菅田 美保
- 24 さいたま市認知症初期集中支援チームの取り組み 西部総合病院 患者サポートセンター
松永 壮子

【ポスターセッション①16:00～16:40 桃の間】 座長：西部総合病院 看護部師長 宗形美智子

- 25 標準ケアマニュアルを用いて抑制を減らす取り組み
春日部厚生病院 3階西病棟
早坂 龍弥
- 26 口腔ケアの習慣づけ
～昼食後の口腔ケアの定着～
春日部厚生病院 3階西病棟
源 樹
- 27 ポジショニングを改善するための取り組みについて
～統一した知識を現場で運用するために行ったこと～
南部厚生病院 2階病棟
吉沢 愛
- 28 胃管チューブを自己抜去する患者への考察
南部厚生病院 3階病棟
森田たま江
- 29 回復期病棟患者の服薬自己管理確立に向けた取り組み
～内服管理選択MAPを導入して～
春日部厚生病院 看護部
野本 清恵

【ポスターセッション②16:40～17:20 桃の間】 座長：西部総合病院 看護部師長 古内 幸江

- 30 レクリエーション定着に向けての取り組み
～共通認識から継続に向けて～
春日部厚生病院 看護部
大谷マツイ
- 31 経管栄養から経口摂取への援助
春日部厚生病院 3階東病棟
蓮見亜希子
- 32 大腸内視鏡検査の説明用紙の変更を試みて
～クリニカルパスを作成して～
春日部厚生病院 外来
新井 淳子
- 33 皮膚の水分量からみる保湿剤の効果
南部厚生病院 3階病棟
高坂 潤
- 34 小児予防接種時における保護者のワクチン理解度
西部総合病院 外来
看護師 布川 陽子

- 【ポスターセッション③16:00～16:40 桃の間】** 座長：春日部厚生病院 看護部主任 内田美喜子
- 35 食事介助共有シート導入の検討 西部総合病院 リハビリテーション部
饒邊 紫乃
- 36 F I Mの運動項目と栄養状態の関連性 春日部厚生病院 リハビリテーション部
秋山 博紀
- 37 回復期病棟における集団リハビリテーションの取り組み
～現状報告と今後の課題～ 西部総合病院 リハビリテーション部
和久津孝太
- 38 活動性低下、認知機能低下を示す患者への介入
～集団リハビリテーション介入における症例の変化と考察～ 西部総合病院 リハビリテーション部
石倉 泉
- 39 当院回復期病棟における在宅への退院支援
～退院後の介護保険利用状況についての調査、および関連因子の検証～ 春日部厚生病院 リハビリテーション部
太田 雄也

- 【ポスターセッション④16:40～17:20 桃の間】** 座長：春日部厚生クリニック 次長 菅 伸治
- 40 回復期リハビリ病棟における多職種間の情報共有
～日常生活動作表の見直し～ 西部総合病院 2階東病棟
牧島 光宏
- 41 コミュニケーション支援相談窓口の開設と今後の課題
～在宅ケアを担う専門職へのアンケート調査を通して～ 春日部厚生病院 リハビリテーション部
中島 一道
- 42 「ずっとここで」を地域で支える仕組みづくり
～認知症普及DVDを地域と共に作成して～ 春日部市第6地域包括支援センター
長谷部朋子
- 43 介護予防・日常生活支援総合事業 通所型Aの効果と考察 春日部厚生クリニック
リハビリデイサービスセンター
篠永 浩二

特別講演

●第16回聖光会学会プログラム●

座長：聖光会グループ 理事長 西村 直久 会場：3階 桜ホール（17:30～18:30）

【講師】 地域包括ケア病棟協会 会長
医療法人社団 和楽仁 芳珠記念病院 理事長
仲井 ^{なかい} 培雄 ^{ますお} 先生

■職務経歴

1985年 自治医科大学医学部卒
1987年 ^{へぐらじま} 舳倉島診療所長
1988年 ^{しらみねむら} 白峰村診療所長
1989年 金沢大学附属病院第2外科入局、以降石川・富山両県の主要病院を歴任
1999年 医療法人社団 和楽仁 芳珠記念病院外科部長
1999年 Royal Brisbane Hospital surgery II Visiting Medical Officer
2004年 医療法人社団 和楽仁 理事長
2012年 社会福祉法人 ^{ひすいすい} 陽翠水 理事長、ほうじゅグループ代表
2014年 地域包括ケア病棟協会 初代会長

■資格

- ・医学博士
- ・日本消化器内視鏡学会専門医
- ・日本消化器病学会指導医・専門医
- ・日本病院総合診療医学会認定病院総合診療医
- ・いしかわ MOT（技術経営）スクール修了

■役職

- ・地域包括ケア病棟協会 会長
- ・日本慢性期医療協会 常任理事
- ・日本リハビリテーション病院・施設協会 理事
- ・日本病院団体協議会 代表者会議 メンバー
- ・日本病院団体協議会 診療報酬実務者会議 メンバー
- ・地域医療を守る病院協議会 メンバー
- ・厚生労働省 医薬・生活衛生局「高齢者医薬品適正使用ガイドライン作成ワーキンググループ」委員
- ・厚生労働省 老健局「介護保険総合データベースに格納するデータの第三者提供に関する有識者会議」

■委員

- ・公益社団法人日本医療機能評価機構 評価事業運営委員会 委員
- ・公益社団法人全国老人保健施設協会 平成30年度国庫補助等事業 調査研究事業班 班員
- ・石川県医療計画推進委員会地域医療構想策定部会 委員
- ・石川県病院協会 理事
- ・能美市医師会 副会長
- ・石川県慢性期医療協会 副会長
- ・全日本病院協会石川県支部 副支部長